

栗山町まちづくり懇談会 議事録

日 時：令和 5 年 7 月 11 日(火) 18：30～19：57

場 所：南部公民館

出席者：21 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 令和 5 年度の推進事業について(資料①②参照) 町長説明

(2) 自由懇談

4. その他

- ・町内会・自治会からの質問・意見に対する回答
別紙「関係機関・団体からの質問・意見」に対する回答一覧
- ・ゴミ分別内容の変更(資料③参照)
- ・ゼロカーボンシティ宣言(資料④参照)

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：中体連の野球を観に行ったときに栗山高校の校長が父兄に名刺を渡していて頑張って営業していると思いました。地域公共交通のバスの件ですが、継立から杵臼・大井分・阿野呂経由の売上を見ると月に 3,000 円しかなく、びっくりしました。町民に現状や町の政策を伝える機会を設けてはどうでしょうか。ケアラー支援は町で支援しているのか。それともボランティアを募集し、事業をしているものなのか。

福祉課長：町ではケアラー支援としておでかけ安心サービス、ショートステイ事業などを行っています。ケアラーサポーターとして訪問・見守り活動をボランティア事業として行い、一部有償で対価を支払いした中で、ご協力を賜っているところでございます。事業の方は社会福祉協議会が中心となって進めておりまして、今後も皆さんにボランティアなどを依頼することが多々あるかと思いますので、ご協力のほどお願いいたします。

町長：校長先生の関係については教育長の方からお褒めの言葉があったことを伝えておき

ます。地域公共交通の関係ですが、毎年 7,000 万から 8,000 万ほど赤字になっています。ですが、バスの運行は住民の皆さんの貴重な足でありますので、路線を確保していかないといけないと思います。大型バスの更新時期に小型バスに変更していくこと、日出から市街地に来るバスは一部デマンド交通を活用するなど、創意工夫をしながら維持経費を抑えていくなどの努力をしていきたいと思っています。お話があったように、バスの経営形態、収入の状況などは 1 年に 1 回、広報などで住民の皆さんにお知らせすべきだと思っていますので、貴重なご意見として承りたいと思っています。それと、今一番問題となっているのが夕鉄バスで、9 月いっぱい廃止されるのが決定しております。夕張から 3 本走っていて、夕張から継立、市街地を通り南幌、新札幌に行く便、夕張から角田、由仁を通り新札幌に行く便、栗山から新札幌に行く便があります。廃止されることで南部地域の方の生活に支障が出てくると思います。現在、夕張市・由仁町・栗山の 3 町で今後について議論していますが、まだ結論がでていません。ですが、少しでも皆さんにご迷惑がかからない形で維持をしていきたいと思っております。方針が決まった段階でご説明する機会を設けたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

町民：町地域包括支援センターの事業に関する要望です。65 歳以上を対象にした「足腰を鍛えましょうすこやか運動教室」が継立会場であり、期間は 4 月から 6 月の 3 か月間。週に 1 回で合計 12 回が終わりました。一人利用料が 200 円。体操の先生が 1~2 名、町の保健師が 1 名で常時 2~3 名の先生がいました。椅子に座って、両腕を左右反対に動かすなどの簡単な体操です。去年から始まった健康教室は参加者がだんだん増えてきていて、20 名近くになっています。非常に効果がある教室と思っています。ですが、6 月で終了のためあとは各自自宅で講習内容を思い出して体操するか、しゃるるで通年やっているからバスに乗って通ってくださいとのことです。現在、2~3 名は通っていますが、私も含めそれ以外の方は、市街地までとなると足が遠ざかっているところです。そこで、継立会場も 3 ヶ月限定にしないで通年に近い、途切れることのないような形で教室を開いてほしいと思っています。

福祉課長：すこやか運動教室ですが、先生にお願いした中で教室を実施しているところでして、ご質問がありました、通年化について現段階では、お答えすることは出来ません。今後検討させていただきたいと思っています。

町民：今、回答できないということですが、通年化する可能性はどのくらいあるのか。

福祉課長：委託している先生方との関係もありますので、前向きに検討させていただくとの回答しかできません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

町民：よろしくお願いいたします。

町民：胆振東部地震の時に電気や水道が止まる可能性があるとのことで、町の広報車が回っていたいたが、すごく聴きづらく情報が入って来ませんでした。今後 FM 放送局が

開局するとのことですが、継立地区は聴けないため、南部公民館を利用してFM放送を聞ける環境を整えていただきます。

ブランド推進課長：FM放送につきましては来年の4月を目標に準備しているところでございます。FMの電波が届くのかということですが、継立・日出地区に中継場を設けますので、電波が届くようになります。FMのラジオにつきましては、災害があった時に自動でFMラジオが緊急放送に切り替わるシステムとなっています。準備が出来次第ラジオは、一世帯に一台配布していきます。

町民：大変素晴らしい説明ありがとうございます。

町民：新たなゴミ分別に関して、レジ袋に生ゴミを入れて燃やせるゴミ袋に入れて出しているのか。

環境政策課長：出していただいて大丈夫です。

町民：小さめの燃やせるゴミの袋を作っていただきたい

環境政策課長：5ℓの燃やせるゴミ袋を作成して対応することを考えています。

町民：継立団地の横の田んぼ用水路を作っていて、用水路と道路の段差がすごくあります。

建設課長：明日現地確認いたします。

町民：地域に対する要望等の回答の中で、町の方で検討・協議しますとありましたが、その協議をする際に地元の町内会を入れていただきたいです。一番よくわかっているのは住んでいる人ですので、協議をする際は参加を呼び掛けてほしいと思います。

建設課長：住民の方と協議しながら進めていきたいと思います。よろしくお願いします。